



LTE/3G 通信モジュール内蔵無線 LAN ルーター

MR-GM3L

サンプル config マニュアル

V1.00.00

目次

サンプル config についての説明.....	3
LAN ポート IP アドレス、DHCP サーバー設定	5
WAN 側から設定画面へのログオン、PING 応答を返す方法.....	8
サーバー公開（DMZ の説明含む）	11
WEB ポート	14

サンプル config についての説明

作成 FW バージョン : v1.04.03

※これらの config はそれぞれ記載の設定を確認するためのものになります。

そのため、読み込むと説明の設定以外は初期値となりますのでお気をつけください。

※こちらの config は「MR-GM3L」シリーズ用です。「MR-GM3」シリーズでは使用できません。

設定画面へのログイン方法を説明します。

URL 欄に LAN 側 IP アドレスを入力してください。(初期値は 192.168.0.1)



ブラウザによって多少変化しますが、サインインするための認証ウィンドウが開きますので、ユーザー名、パスワードを入力してください。(初期値はユーザー名 : admin パスワード : passwd)

設定変更後の設定反映手順を説明します。

「設定保存」ボタンを押すと下記画面になります。

設定は正常に保存されました。

変更を動作に反映させるためには、プロセスを再起動する必要があります。

今すぐ再起動を行いますか？

他の設定を行った後、再起動を行いますか？

今すぐ再起動

後で再起動

すぐに設定反映したい場合は「今すぐ再起動」、他の設定も行う場合は「後で再起動」を押してください。

LAN ポート IP アドレス、DHCP サーバー設定

•Sample001.dat

※LAN 側 IP アドレスを変更した状態で設定保存ボタンをクリックすると即再起動が始まってしまいます。

付与 IP アドレス範囲も変更してから設定保存ボタンを押すようにしてください

初期値

LAN 側 IP アドレス : 192.168.0.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.0.2 終了 192.168.0.20

変更後

LAN 側 IP アドレス : 192.168.100.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.100.2 終了 192.168.100.30

変更手順

設定画面へログイン方法

URL 欄に LAN 側 IP アドレスを入力してください。(初期値は 192.168.0.1)

ネットワーク設定を開いて、LAN 設定をクリックしてください。



こちらが初期値になります。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

本機のLAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー	<input type="button" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.0.2"/> 終了 <input type="text" value="192.168.0.30"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 (1分 - 168時間)
ドメイン名	<input type="text"/>

※IPアドレスを変更して「設定保存」ボタンをクリックした場合、本機が即再起動を行います。

こちらが変更後の値になります。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

本機のLAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.100.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー	<input type="button" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.100.2"/> 終了 <input type="text" value="192.168.100.30"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 (1分 - 168時間)
ドメイン名	<input type="text"/>

※IPアドレスを変更して「設定保存」ボタンをクリックした場合、本機が即再起動を行います。

本機の LAN 側 IP アドレス : 192.168.100.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.100.2 終了 192.168.100.30

と変更後に「設定保存」ボタンを押してください。

※この設定を行う時、本機の LAN 側 IP アドレスを変更した状態で「設定保存」ボタンを押すと
即時再起動が行われますのでご注意ください。

本機の LAN 側 IP アドレス、付与 IP アドレス範囲の両方を変更後に「設定保存」ボタンを押すことを
おすすめいたします。

WAN 側から設定画面へのログオン、PING 応答を返す方法

•Sample002.dat

初期設定：WAN 側からの設定画面へのログオン無効

WAN 側からの PING 応答無効

変更後：WAN 側からの設定画面へのログオン有効

WAN 側からの PING 応答有効

※グローバル IP アドレスを取得できる SIM・回線が必須となります。

※WAN 側から設定画面へのログインを許可する場合、必ずログイン情報を変更してください。

ログイン情報は「マネージメント」内「ユーザー・パスワード設定」から変更可能です。

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「IP フィルタリング設定」をクリックしてください。



IP フィルタリング設定画面が開きます。

☒ IPフィルタリング機能を有効にする

送信元IPアドレス/マスク

/

(1~32)

宛先IPアドレス/マスク

/

(1~32)

プロトコル

TCP

▼

送信元ポート

-

(0~65535)

宛先ポート

80

-

80

(0~65535)

送信元インターフェース

WAN

▼

宛先インターフェース

自機

▼

フィルタ動作

透過

▼

コメント

(半角英数字20文字以内)

リストへ登録・設定保存

「IP フィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れてから

プロトコル：TCP

宛先ポート：80-80（初期値の場合、Web ポートを変更している場合はそちらに合わせてください）

送信元インターフェース：WAN

宛先インターフェース：自機

フィルタ動作：透過

これらを設定して「リストへ登録・設定保存」をクリックしてください。

IPフィルタリング 登録リスト（64エントリまで登録可能）

送信元IP/マスク	宛先IP/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元I/F	宛先I/F	フィルタ動作	コメント	選択
any	any	TCP	any	80 - 80	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>
選択したエントリを編集		選択したエントリを一つ上げる		選択したエントリを一つ下げる					
選択したエントリを削除		全て削除							

IP フィルタリング登録リストにこのように登録されます。

これで WAN 側から設定画面へのログオン設定は終了です。

次に WAN 側からの PING に応答をかえす設定です。

IP フィルタリング設定画面を開いてください。

☒ IPフィルタリング機能を有効にする

送信元IPアドレス/マスク / (1~32)

宛先IPアドレス/マスク / (1~32)

プロトコル

ICMP ▼

送信元ポート - (0~65535)

宛先ポート - (0~65535)

送信元インターフェース

WAN ▼

宛先インターフェース

自機 ▼

フィルタ動作

透過 ▼

コメント (半角英数字20文字以内)

リストへ登録・設定保存

「IP フィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れてから、

プロトコル：ICMP

送信元インターフェース：WAN

宛先インターフェース：自機

フィルタ動作：透過

これらを設定して「リストへ登録・設定保存」を押してください。

IPフィルタリング 登録リスト (64エン트리まで登録可能)

送信元IP/マスク	宛先IP/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元I/F	宛先I/F	フィルタ動作	コメント	選択
any	any	ICMP	any	any	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>
選択したエントリを編集		選択したエントリを一つ上げる			選択したエントリを一つ下げる				
選択したエントリを削除		全て削除							

IP フィルタリング登録リストにこのように登録されます。

これで WAN 側からの PING に応答を返す設定は終了です。

サーバー公開（DMZ の説明含む）

•Sample003.dat

初期設定：WAN 側から LAN 内のサーバーへのアクセス不可

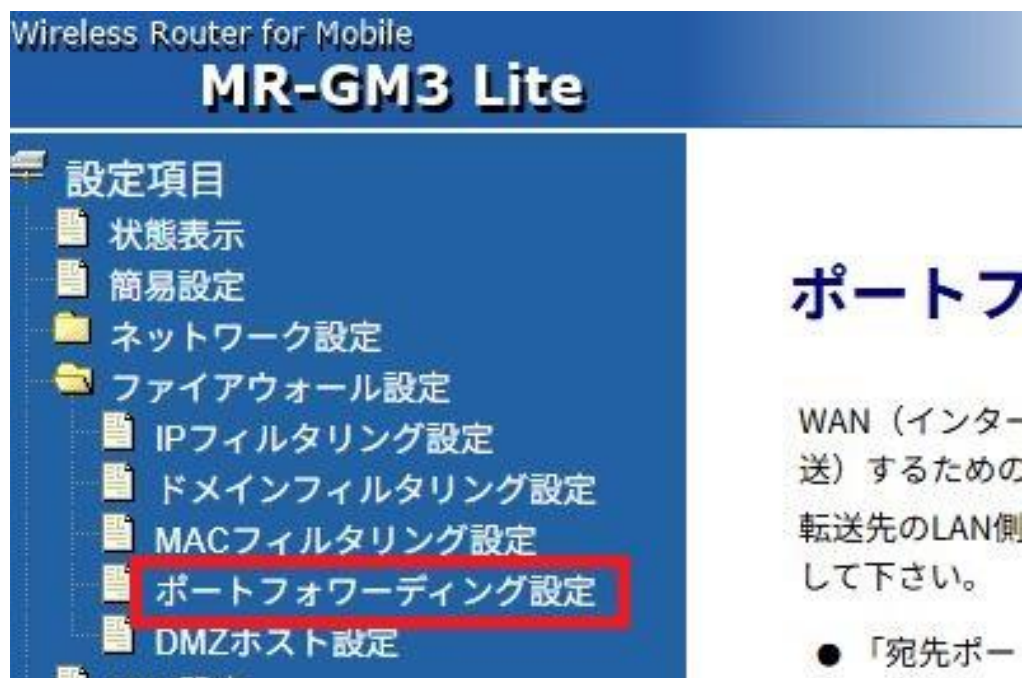
変更後：WAN 側から LAN 内のサーバーへのアクセス可

※グローバル IP アドレスを取得できる SIM・回線が必須となります。

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「ポートフォワーディング設定」とクリックしてください。



ポートフォワーディング設定画面が開きます。

☒ ポートフォワーディング機能を有効にする

転送先IPアドレス

プロトコル

宛先ポート範囲 先頭 - 終了 (1~65535)

転送先(変換)ポート (1~65535)

コメント (半角英数字20文字以内)

リストへ登録・設定保存

「ポートフォワーディング機能を有効にする」にチェックを入れてください。

今回の設定例：LAN 内にサーバーを建てる

「192.168.0.50:10081」と IP アドレス、ポート番号を設定する。

セキュリティのため転送先（変換）ポート設定を行い、WAN 側からアクセスするときにはポート番号 8080 を指定する必要がある設定にする。

取得するグローバル IP アドレスは 222.***.***.123

転送先 IP アドレス：「192.168.0.50」

プロトコル：「TCP」

宛先ポート範囲：先頭「8080」-終了「」

転送先（変換）ポート：「10081」

これらを入力後、「リストへ登録・設定保存」ボタンをクリックしてください。

※転送先（変換）ポート設定を行う場合は宛先ポート範囲は「先頭だけ」を設定してください。

ポートフォワーディング 登録リスト (64エン트리まで登録可能)

転送先IPアドレス	プロトコル	宛先ポート範囲	転送先(変換)ポート	コメント	選択
192.168.0.50	TCP	8080	10081		<input type="checkbox"/>
選択したエントリを削除		全て削除			

このように登録されます。

この状態でブラウザの URL 欄に「222.***.***.123:8080」と入力すれば WAN 側からサーバーへアクセス可能となります。

これでうまくアクセスできなかった場合は問題切り分けのため、「DMZ ホスト設定」を試してください。

設定手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「DMZ ホスト設定」とクリックしてください。



DMZ ホスト設定画面が開きます。

DMZホスト設定

インターネット側からWAN側IPアドレス宛の通信を、LAN側の1台の端末（IPアドレス）へ転送するための設定を行います。
全てのパケットが「転送先IPアドレス」へ転送されます。

転送先IPアドレスに設定した端末は、セキュリティが低下しますので、注意して下さい。
（必要に応じて、端末側でセキュリティ対策を行って下さい。）

☒ DMZホスト機能を有効にする

転送先IPアドレス

「DMZ ホスト機能を有効にする」にチェックを入れてください。

転送先 IP アドレス : 「192.168.0.50」

と入力して「設定保存」をクリックしてください。

DMZ ホスト機能で WAN 側からサーバーへアクセスできた場合、設定ミスが考えられます。

DMZ ホスト機能でもだめな場合は WAN 側からアクセスさせることはできない可能性があります。

WEB ポート

•Sample004.dat

初期設定 : 「80」

変更後 : 「8080」

※10080 はブラウザのセキュリティ対策のため古いブラウザでないとアクセスできなくなるため別の値を設定するようにしてください

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「マネージメント」内「システム設定」をクリックしてください。



システム設定画面が開きます。

システム設定

装置全般の設定を行います。

装置名称	<input type="text" value="MR-GM3"/>
<input type="checkbox"/> リモートログに装置名称を表示する	
装置アクセス	
Webポート	<input type="text" value="8080"/>
<input type="button" value="設定保存"/>	

Web ポートを「8080」に変更してください。

変更後、設定保存ボタンを押してください。

「設定は正常に反映されました」ページに切り替わります。「今すぐ再起動」「後で再起動」を選択して押してください。

再起動後、設定画面へアクセスする際に LAN ポート IP アドレス+「:8080」がなければアクセスできないようになっていれば正常に設定変更は完了です。